

令和5年度 学校評価（年間） 長崎県立佐世保中央高等学校（通信制）

学校教育目標	自己肯定感と他者の価値の理解に基づいて、自他の人権を尊重して誠実に生きる生徒を育てる 【誠実】
	学び成長する喜びを知り、自律的に学び続けることのできる生徒を育てる 【自律】
	自らの成長と社会への貢献のために、周囲と協力できる生徒を育てる 【協力】

評価（4段階） 4：十分に達成できている 3：おおむね達成できている
2：どちらかというとは達成できていない 1：ほとんど達成できていない

学校経営方針等について

		評価	
学校経営方針	1	安心して安全に学べる教育環境整備に努め、絆づくりと居場所となる学校づくりに努める。	3.2
	2	生徒の自己肯定感と他者の価値への理解を醸成するべく、人権教育、特別支援教育、平和教育及び教育活動全般における道徳教育を推進する。	2.9
	3	教員各自が教育実践の向上と研修に努め、生徒の学びの質の向上と進路実現に努める。	3.1
	4	ボランティア活動やさわやか挨拶運動等を推奨し、他者と協力する喜びを生徒に体感させる。	2.9
	5	学校に対する生徒・保護者の誇り、地域からの信頼のために、時宜を得た広報活動を展開する。	3.3
重点目標	6	個々の生徒状況の把握に努め、丁寧なサポートを通して、学習・進路指導の充実を図る。	3.7
	7	学校行事等への積極的な参加を通して、自己の再発見を促し、互いの交流の中で社会性や自己肯定感を高め、民主主義社会を担うスキル・公共心等を育てる。	2.8

教科指導について

		評価	
教科指導	8	自宅自習の手助けとなるようなスクーリング指導計画とその内容の検討を行う。	3.3
	9	教科書と学習書を活用しながら、自宅でのレポート学習ができるようなレポート内容の検討と作成を行う。	3.2
	10	「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」を踏まえ、学習指導（添削指導・面接指導・多様なメディアの利用等）を推進する	3.2

校務分掌等について ※自身の分掌について回答

		評価	
教務管理部	11	綿密な学習会や点検業務を行い、確実な履修指導・成績処理を行う。	3.4
	12	既存の業務の見直し・改善を行い、簡略化・効率化に努める。	3.1
	13	校内外に向けて通信制の情報を発信し、システム等の周知に努める。	3.1
	14	生徒に本校の学習システムについて情報を発信し、理解を促すように努める。	3.0
	15	生徒一人ひとりの学習状況を適切に把握できるようシステムづくりに努める。	3.1
生徒支援部	16	生徒への進路情報の発信と働きかけに努める。	3.1
	17	生徒一人ひとりに合った進路選択とその実現のため、情報の共有を図る。	3.1
	18	基本的な生活習慣の向上を目指す。	2.8
	19	教育相談・学年団等と連携をとりながら指導に努める。	3.5
	20	生徒会活動を通して、生徒の自主的な活動の充実を図る。	3.5

生徒支援部	21	自己の健康状況を把握し、健康的な生活習慣を確立させるとともに、自己管理能力を向上させるよう支援する。	3.0
	22	学校環境衛生の管理に努める。	2.8
	23	生徒個人情報の窓口として、総括と整理に努める。	3.4
	24	SSW、SC 制度の効果的な利用促進を図る。	3.5
	25	支援を必要とする生徒の情報共有とその支援の充実に努める。	3.5

学年経営について ※自身の学年について回答 評価

1 学年	26	通信制のシステムを周知させ、学習意欲の向上を図るとともに、進路意識を高めさせる。	3.0
	27	学校行事や生徒会活動への積極的な参加を促す。	2.8
	28	高校生としての自覚を持たせ、責任ある行動をとることができるようにする。	2.8
2 学年	29	中堅学年に所属する者としての自覚を持たせ、学校全体を牽引する生徒の育成を図る。	3.2
	30	更なる学習意欲の向上に努め、進路意識を高めさせる。	3.0
	31	学校行事や清掃などの活動に積極的な参加を促し、生徒一人ひとりの自主性及び協調性を育てる。	3.0
3 学年	32	最終学年として、充実した学校生活を送ることができるようにする。	3.0
	33	卒業を目指して最後まで努力するように指導する。	3.4
	34	個の特性に応じた進路実現を目指す。	2.6
	35	各行事や HR 等の活動に積極的に参加を促し、豊かな人間性と社会性を育てる。	3.0

教育環境について 評価

施設・設備の管理	36	施設・設備の安全点検や補修を定期的に行う。	3.1
学校環境の整備	37	面接指導日の清掃時間だけでなく、日頃から校内の環境美化に努める。	3.2
情報基盤の整備・情報	38	パソコンによる校務処理を積極的に推進し、データの共有化を図る。	3.4
	39	ホームページを定期的に更新し、学校情報の積極的発信に努める。	3.1

開かれた学校について 評価

地域や関連機関との連携	40	近隣地域の高校・中学校との情報交換を積極的に行い、連携を強める。	2.9
学校環境の整備	41	充実した生涯学習講座の実現に努め、広く活動内容を PR する。	3.4

いじめ防止について 評価

いじめ防止基本方針に基づく取組	42	受容を心がけるとともに、生徒とのふれあいを深め、いじめが起きにくい環境づくりに努める。	3.2
	43	いじめ調査、三者面談を定期的に行い、早期発見に努める。	3.2